

2012年 新年賀詞交歓会 木村社長挨拶(要旨)

記者各位

当社(社長:木村 康)は1月10日(火)、ザ・プリンス パークタワー東京(東京都港区)にて
特約店経営者や関係協力会社の方々、約1,000名をお招きして、2012年新年賀詞交歓会を開催いたしました。
当社社長 木村の挨拶(要旨)を以下のとおりお知らせいたします。

2011年は、東日本大震災の発生により、私たち自身の価値観、生き方をも揺さぶった年として、後々まで記憶されることになるでしょう。エネルギー業界に身をおく私たちは、エネルギーの安定供給がいかに重要であるか、身をもって体験することになりました。

「いかなる場合においても、最終消費者へエネルギーの安定供給を確保する」ことが、当社の最大の責務です。皆様にとっても、私たちの扱っている製品が、多くの人々の暮らしを支える、まさに「生命線」となっていることを、再認識されたのではないかと思います。

こうしたなか、当社は、発足3年目を迎えます。2012年度は当社にとって現行中期経営計画の最終年度であり、その後の持続的な成長のために、たいへん重要な年であると位置づけております。

製造面については、この3月に仙台製油所の稼働再開を確実に実行し、全国8ヶ所の製油所と3ヶ所の製造所による製品供給体制を活かした「ベストプラクティス」を実践します。

販売面では、国内最大の12,000ヶ所という、強力なSSネットワークが持つ利便性を最大限に活用できるよう、お客様のニーズに対応し、皆様のSSが「儲かる」商品やサービスを提供してまいります。

また、家庭用エネルギーについては、お客様が求めるニーズに対し、的確に提案できるサービス事業「Dr.お客様のエネルギー」を展開し、SSで展開している「Dr.ドライブ」と並ぶ事業へ育てていきたいと考えております。

このように製造と販売両面で着実な取り組みを行い、「国内最高の競争力を有する製造・販売体制の構築」を、2012年度に必ず成し遂げます。

私は今年のキーワードを「完達、そして飛躍」といたしました。今年は、なんといっても日本全体が一丸となって、東日本大震災の復興のみならず、わが国全体の再生に取り組んでいかなければなりません。

当社は中期経営計画に掲げた「統合シナジーの創出」、「国内最高の競争力を有する、製造・販売体制の構築」、「海外事業の強化」、「新エネルギー・新規事業の推進」の4本柱に「復興」を加えた5つの基本戦略を確実に実行することで、JXの「みらい」を築く礎を、さらに強固なものにしていかなければなりません。

昨年はキーワードを「和」といしましたが、さきの震災においては、この「和」が、石油製品の安定供給という責務を果たす大きな力になりました。

皆様とともに築いてきた「和」の力を存分に発揮して、「復興」を成し遂げ、さらに、劇的な事業変革を完全に達成するという二つの意味を込めたキーワードが「完達」です。

また、目標は達成しなければ意味がありません。目標を達成してこそ、次の頂が見えてくるものです。

皆様と当社が最強のパートナーシップを組み、お互いの目標を達成して、次の頂、エネルギーの「みらい」を作り上げていこう、一緒に「みらい」へと前進していこう、という意味を込めた言葉が「飛躍」です。

この会場にいる全ての皆様が、課題をひとつひとつ達成し、前進していくことが、新しい日本の「みらい」を切り拓き、飛躍させていくものと確信しております。

以上